

2014年度事業所評価加算適合事業所

医療法人アエバ会 すこやか生野

すこやかTimes

2015
特別号

日本医療マネジメント学会学術総会で 回演発表を行いました

平成27年6月12日にグランキューブ大阪（大阪国際会議場）で行われた第17回日本医療マネジメント学会学術総会において、医療法人アエバ会としてすこやか生野通所リハビリのパワーリハビリテーションの効果について演題発表を行いました。

この学会は医療の質や医療安全・地域連携など様々な分野での各病院・施設での取り組みや研究を発表する場です。

この度、当法人では「病院と介護老人保健施設での転倒予防リスクマネジメント」と題しまして、パワーリハビリテーションによる転倒予防効果について発表させて頂きました。

ご利用者様に行っていた体測定の結果や転倒リスク自己診断スコア及びご利用者様アンケートをもとに、ご利用当初と3か月後・6か月後の成果をデータ化し、パワーリハにより各測定数値の向上がみられていることと、実際の生活場面での安全性が改善していることとの関連性について検討した内容を発表しましたので、すこやかタイムズ特別号として報告させて頂きます。



医療法人 アエバ会
すこやか生野

通所リハビリテーション事業所
大阪市生野区勝山北4-1-8
TEL.06-6717-8003(直通)
06-6717-8002(代表)
FAX.06-6717-8004



無料見学体験会 随時実施中！ お気軽にお問合せ下さい。

日本医療マネジメント学会での発表内容

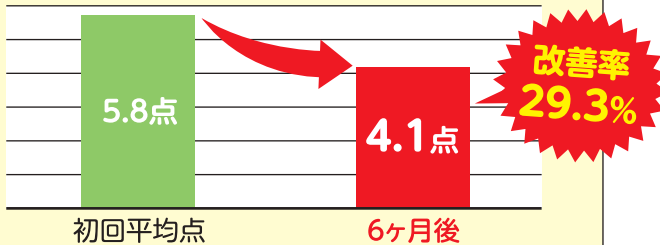
すこやか生野通所リハビリで導入しているパワーリハビリテーションプログラムが利用者様の身体的能力にどのような効果を示しているか、またその効果が利用者様の生活動作にどのように影響しているかを検証した結果となります。

利用者様に3ヶ月毎に実施している体力測定の結果の平均値を右に示しています。それぞれの項目で改善がみられていますが特に「開眼片脚立位」と「ファンクショナルリーチ」「Timed up & go test」において著明な効果を示しています。

これらはバランス能力に関わる検査であり、測定数値の向上は**利用者様の生活動作能力及び転倒予防に対し効果がある**と考えました。

評価項目	初回時	6ヶ月後	増減率
握力(kg)	18.1	18.9	4.4%
開眼片脚立位(秒)	10.8	11.8	9.3%
ファンクショナルリーチ(cm)	19.3	20.5	6.2%
座位体前屈(cm)	25.6	25.8	0.8%
TUG(秒)	20.9	16.7	20.1%

転倒リスク自己診断スコア改善率



改善のみられた項目

- ◎ 転倒に対する不安はありますか？
- ◎ 最近、転んだことはありますか？
- ◎ 立ちくらみが起こることはありますか？

3月に実施した利用者アンケートでは多くの利用者様がパワーハププログラムの効果を実感しておられます。

その中でも「どのような効果がありましたか？」との質問についてまとめてみると右のようになります。

立ち上がり動作の改善など生活での動作能力に対する効果を挙げる方は多く、転倒しにくくなったとの意見もみられ、**体力測定における成果と転倒リスク自己診断の改善とを結びつける結果となりました。**

実際に利用者様の自宅などでの転倒が減っているかの検証は初回利用時に評価している「転倒リスク自己診断スコア」を用いました。

スコアの判定は16項目の問診の結果が4点以下で「転倒リスク低い」、5～7点で「転倒リスクあり」、8点以上で「転倒対策必要」となります。

6ヶ月後の結果では**4点台とリスクの少ないスコアまで改善**がみられ、評価内容でも転倒に関わる項目に改善がみられました。

どのような効果がみられましたか？

立ち上がりがしやすくなった	17名
体の動きがよくなった	15名
足腰がしっかりしてきた	15名
足の出がよくなった	13名
転びにくくなった	12名
手伝ってもらう事が減った	11名
姿勢が良くなった	9名

生活行為向上リハビリテーション研修会へ参加しました！

「生活行為向上リハビリテーション」とは、加齢や廃用性症候群等により生活機能の1つである活動をするための機能が低下した利用者様に対して、その機能を回復させ自宅での自主的な取り組みやデイサービス、地域のカルチャー教室などの**社会参加**へと繋げるために6ヵ月間の集中的なリハビリテーションを行うものです。

当法人では、利用者様の「**充実した生活**」をこれからも支援していきます。

